



『We ♥ 鏡中』

令和8年7月3日

☆ 放課後補充等学習会が始まりました

7/2の放課後から、英語科の放課後補充等学習会が始まりました。

県教育委員会の事業に応募し、市教育委員会から講師を派遣してもらって実現した事業です。高校入試を見据えての英語を一から学習することを生徒に伝え、希望者を募って実施しています。

講師は、今年度、初任者の指導員としても本校に来ていただいている中山佐恵先生です。イギリスでの生活経験も長く、日本の高校・中学でも教鞭をとられた経験をお持ちなので、英語の基礎から高校入試(大学入試の指導もされていたので、かなりのレベルの指導まで)の指導までをさせていただきます。もちろん通常の授業を大切にすることが基本ですが、中1レベルで躓いた内容も学び直すことができると考えています。

今回は、一般動詞を使った、肯定文、その否定文、疑問文の作り方を、生徒とやり取りしながら学習が進んでいました。

今回の板書をノートにとり、家庭学習で『アクティブリコール』(板書を頭に入れて、何も書いていない紙に板書の内容を書き出すというアウトプットの活動等をして、書き出しきれなかった内容を確認し、再度アウトプットする。最終的に何度か書き出すというアウトプット活動をすることで、一般動詞を使った文章を書けるようになる。)に取り組むことで、入試等で必要な点数アップを実現してほしいと思っています。

『アクティブリコール』は、こういったひとまとまりの内容をインプットして、そのことをアウトプットすることで効果を発揮するので、今回から始まった「放課後補充等学習会」を上手に活用してもらいたいと考えています。

学習したことをどこまで活かすかは本人次第ですが、私自身は、10の努力をして、1の結果を得るより、100の努力をして100の結果を得たいと考えます。そういった結果を得られる可能性がある、『アクティブリコール』という学び方を、生徒に学んでほしいと思います。



☆ 防煙教室、性教育講演会

6/30、1年生で防煙教室、7/2、2年生で性教育講演会がありました。

防煙教室では、校医の成瀬クリニックの成瀬院長を招いて、講演していただきました。タバコの害について、詳しくわかりやすく話をされ、1年生も自分事として聞いていました。

タバコが未成年では購入できないはずなのに、本校生徒でタバコを吸って指導された生徒もいます。防煙教室での学んだことを生かしてほしいと思います。

性教育講演会では、久保田産婦人科から、お二人の助産師さんを講師にお迎えして、講演していただきました。

佐賀県は、20数年前の2000年代にかけて20歳未満の人工妊娠中絶率が全国ワースト上位(2006年度には全国1位)となるなど心配な状況が続いていました。その後、県や医師会による性教育の取り組み(今回もその事業を利用)により、若年層の中絶率は明確に減少傾向にあります。しかしながら、九州地方全体として人工妊娠中絶の実施率が全国平均を上回る傾向があります。

性感染症の話もしていただきましたが、性行為で感染するHPVによる子宮頸がんも佐賀県で多いことなども話されました。

特に女性には、自分の身を自分で守るということを心がけてほしいと思います。男性には、自分の大切な人を守るにはどうすればよいかを真剣に考えてほしいです。

